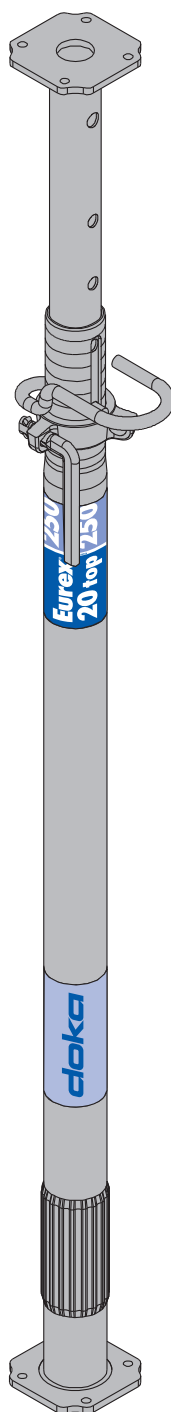


型枠のエキスパート

Doka フロアプロップ Eurex 20 top 250

Art. n° 586086400

ユーザー情報冊子補遺



現行の Doka フロアプロップ Eurex 20 top 250 は、ほとんどのシステムにおいて、実際に求められる以上の耐荷重を実現することが可能です。

今回、(他のすべての型式の Eurex 20 top フロアプロップと同様) プロップを最大限に延長した場合でも 20 kN の荷重に耐えられるよう、外管および内管の直径を最適化しました。

警告
 ただし、外観上の変化はほんのわずかであるため、事実上、他の版(型式)と区別する方法がありません。そのため、商品番号ならびに商品名は従来どおりとしています。
 ▶ 今後、Doka フロアプロップ Eurex 20 top 250 を使用するすべての商品構成に対して、新しい許容荷重のみを適用します！

プロップを以下の型枠システムと併用する場合は、新しい許容荷重を適用するものとします。

- パネルフロア型枠 Dokadek 30
- Dokaflex 30 tec

新しい耐荷重は、以下の型枠システムには適用されません。

- Dokamatic テーブル
- Dokaflex テーブル
- Doka Xtra
- Dokaflex 1-2-4

重要な指示：

関連する Doka の他の文書は、可能なかぎり速やかに改定します。ただし、多くの言語に翻訳されている文書や、印刷文書の在庫が多数存在するものについては、更新が完了するまでにある程度の時間がかかります。

それまでは、お持ちの旧文書にこの補遺を追加のうえ、ご使用ください。



詳細については Doka の技術者に直接お問い合わせください。

i 「Eurex top フロアプロップの使用案内にある指示に従ってください！

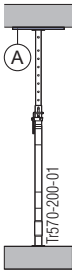
耐荷重

自由(システムに無関係な)構成プロップの場合

下表に、Doka フロアプロップ Eurex 20 top 250 の新しい許容荷重を、該当する延出長さおよび外管の位置(一般建築検査局承認 Z-8.311-905 による)と併せて示します。

プロップ長 (m)	外管の位置	
	ボトム	トップ
		
	EN 1065 による分類	
	B25 D25	C25 D25
	耐荷重 (kN)	
2.5	20.2	24.8
2.4	21.3	27.2
2.3	22.5	29.5
2.2	23.3	31.9
2.1	24.0	34.3
2.0	24.6	36.7
1.9	25.8	
1.8	26.9	
1.7	28.4	
1.6	30.1	
1.5	31.8	

Dokamatic および Dokaflex テーブル内での使用時、または、仮支え用としての使用時(プロップは固定されている状態)

プロップ長 (m)	耐荷重 (kN)	
2.5	30.0	
2.4	32.0	
2.3	34.0	
2.2	36.7	
2.1		
2.0		
1.9		
1.8		
1.7		
1.6		
1.5		

▶ プロップを仮支保として使用する場合：ヘッドプレートおよびベースプレートを直接スラブにあてがいます(型枠合板パック用ストリップ (A) の使用可)。